

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の5第1項の表の第1号
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年8月8日
【中間会計期間】	第40期中(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
【会社名】	S B Sホールディングス株式会社
【英訳名】	SBS Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鎌田 正彦
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿八丁目17番1号
【電話番号】	03(6772)8200(代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 三浦 孝造
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿八丁目17番1号
【電話番号】	050(1741)2385
【事務連絡者氏名】	財務部長 三浦 孝造
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第39期 中間連結会計期間	第40期 中間連結会計期間	第39期
会計期間		自 2024年1月1日 至 2024年6月30日	自 2025年1月1日 至 2025年6月30日	自 2024年1月1日 至 2024年12月31日
売上高	(百万円)	221,739	228,539	448,145
経常利益	(百万円)	11,385	6,364	18,463
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	(百万円)	6,456	2,760	9,619
中間包括利益又は包括利益	(百万円)	8,138	3,182	12,603
純資産額	(百万円)	107,756	113,491	112,948
総資産額	(百万円)	312,226	328,855	317,287
1株当たり中間(当期) 純利益金額	(円)	162.56	69.50	242.19
潜在株式調整後1株当たり 中間(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	27.0	26.8	27.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	9,194	10,598	15,807
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	8,464	15,673	16,723
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,623	2,123	1,293
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	(百万円)	33,236	24,799	28,436

(注) 1 当社は中間連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

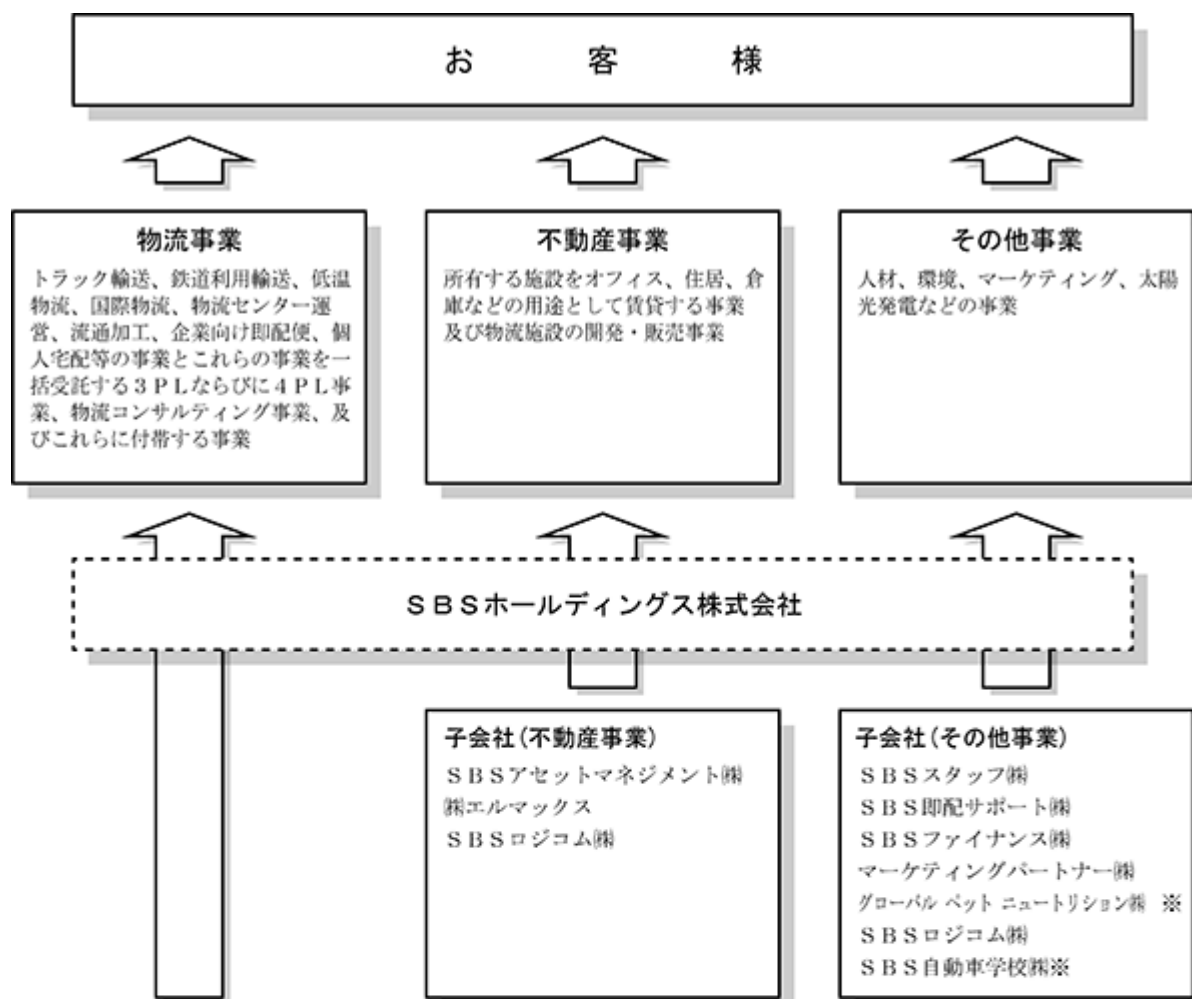
当中間連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社の異動については、当中間連結会計期間より、SBS Europe B.V.について重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、当中間連結会計期間より、新たに株式を取得したBlackbird Logistics B.V.及び同社の子会社5社を連結の範囲に含めております。

（企業集団の状況）

当社グループは、当社を持株会社として当社グループの連結の範囲に入る子会社48社及び関連会社1社*が相互に連携して、物流事業、不動産事業、その他事業を営んでおります。これらを報告セグメントとの関連で示すと以下のとおりであります。なお、次項の図には非連結子会社及び関連会社の一部（印）を含んでおります。

* 関連会社の内訳は、㈱ゼロ（持分法適用関連会社）です。



子会社(物流事業)	
<p>SBS東芝ロジスティクス㈱ SBSロジスター㈱ 東芝物流(上海)有限公司 東芝物流(杭州)有限公司 東芝物流(大連)有限公司 東芝物流(香港)有限公司 Toshiba Logistics (Singapore) Pte.Ltd. Toshiba Logistics (Philippines) Corporation TL Forwarding Service (Philippines) Corporation Toshiba Logistics (Thailand) Co., Ltd. TL Service (Thailand) Co., Ltd. Toshiba Logistics Malaysia Sdn. Bhd. Toshiba Logistics Vietnam Co., Ltd. Toshiba Logistics India Private Limited Toshiba Logistics America Inc. Toshiba Logistics Europe GmbH SBSリコーロジスティクス㈱ SBS三愛ロジスティクス㈱ RICOH LOGISTICS CORPORATION [USA] RICOH INTERNATIONAL LOGISTICS (H.K) Ltd. 理光国際貨運代理(深圳)有限公司 SBS Logistics (Thailand) Co., Ltd. SBS Vietnam Co., Ltd.</p>	<p>㈱ジャス SBSグローバルネットワーク㈱ SBSロジコム㈱ SBSフレイトサービス㈱ SBSロジコム関東㈱ 旭新運輸開発㈱ SBSフレック㈱ SBSフレックネット㈱ ㈱日ノ丸急送 SBS即配サポート㈱ SBSゼンツウ㈱ SBS NSKロジスティクス㈱ SBS古河物流㈱ SBSファイナンス㈱ PT TANGGUH JAYA PRATAMA ※ Atlas Logistics Private Ltd. ※ SBS Europe B.V. Blackbird Logistics B.V. Pyxis Logistics Solutions B.V. De Zwaluw Logistiek B.V. De Zwaluw Shipping B.V. Maasvlakte Customs Service B.V. Transmission Hoorn B.V.</p>

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当中間連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当半期報告書提出日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当中間連結会計期間(2025年1月1日～2025年6月30日)は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増大等により国内消費の回復傾向が続いた一方で、資源・原材料価格の高騰や生活必需品、とりわけ食糧品の価格上昇、さらには米国の通商政策の影響が国内景気を下押しするリスクとなり、先行き不透明感が依然継続する形となりました。

物流業界においても、輸送能力不足とコスト上昇が顕在化し、取り巻く環境は厳しさを増しております。そうしたなか、当社グループは、主力の物流事業における3PL、4PLビジネスの獲得に加えて、ワンストップのECプラットフォームサービス「EC物流お任せくん」の本格展開を関東、関西の両地域において開始するなど、積極的な対応を図ってまいりました。

当中間連結会計期間の業績については、前年第1四半期に物流不動産の流動化を実施しているため、売上高は前中間連結会計期間より67億99百万円増(+3.1%)の2,285億39百万円、営業利益は同45億68百万円減(-41.7%)の63億89百万円、経常利益は同50億21百万円減(-44.1%)の63億64百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同36億95百万円減(-57.2%)の27億60百万円となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

(物流事業)

主力の物流事業では、既存顧客との取引拡大に加え、高い物流機能を求める新規顧客の獲得や、EC物流の需要取り込み、また、ラストワンマイルにおける置き配サービスの本格導入等、サービスラインナップの拡大にも注力しました。当中間連結会計期間の物流事業の売上高は、新規・既存顧客のビジネス拡大等に加え、子会社を新規連結した影響により、前中間連結会計期間より162億45百万円増(+7.9%)の2,211億42百万円、営業利益は同3億81百万円増(+8.5%)の48億58百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、開発事業と賃貸事業で構成されております。開発事業では、グループ内での3PL、4PL事業を推進するために、顧客の物流ニーズに合った大型倉庫を土地の取得から建設まで一貫して行います。賃貸事業では、グループで保有する倉庫、オフィスビル、レジデンス等から賃貸収益を得ています。当社は、将来の投資に向け物流不動産を流動化し資金を回収しており、流動化に伴い計上する収益は不動産事業に含めております。

当中間連結会計期間における不動産事業については、前述のとおり、前年第1四半期に新杉田物流センター(横浜市)の信託受益権の譲渡を実施しているため、売上高は前中間連結会計期間より98億23百万円減(-80.4%)の23億90百万円、営業利益は同46億77百万円減(-76.0%)の14億80百万円となりました。

(その他事業)

その他事業の主なものは、人材派遣事業、マーケティング事業、太陽光発電事業及び環境事業です。当中間連結会計期間におけるその他事業の売上高は前中間連結会計期間より3億78百万円増(+8.2%)の50億6百万円、営業利益は同81百万円増(+45.8%)の2億60百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当中間連結会計期間末における総資産は3,288億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ115億68百万円増加しました。現預金や売掛金をはじめとした流動資産が減少した一方で、子会社の新規連結等の影響で固定資産が増加しました。

負債は2,153億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ110億25百万円増加しました。これは主に、短期借入金等の流動負債の増加によるものです。

純資産は1,134億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億42百万円増加しました。これは主に、非支配株主持分の増加によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ36億37百万円減少し、247億99百万円となりました。各キャッシュ・フローの主な内訳は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は105億98百万円となりました。前中間連結会計期間の91億94百万円の収入と比べて、税金等調整前中間純利益が減少した一方で、売上債権や棚卸資産等の増加により、14億3百万円収入が増加しました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は156億73百万円となりました。前中間連結会計期間の84億64百万円の支出と比べて、連結範囲の変更を伴う子会社株式の新規取得等により72億8百万円支出が増加しました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は21億23百万円となりました。前中間連結会計期間の16億23百万円の支出と比べて、長期借入金の返済支出等があった一方で、短期借入および長期借入による収入により、4億99百万円収入が増加しました。

(4) 経営方針・経営戦略等

当中間連結会計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当中間連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当社は、2025年6月30日開催の取締役会において、㈱ブリヂストンから、同社の子会社であるブリヂストン物流㈱の普通株式の一部（発行済株式数の66.6%）を取得し、当社の連結子会社化することについて決議し、同日付で㈱ブリヂストンとの間で株式譲渡契約を締結しました。

詳細は、「第4 経理の状況 1. 中間連結財務諸表 注記事項（追加情報）」に記載のとおりであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	154,705,200
計	154,705,200

【発行済株式】

種類	中間会計期間末 現在発行数(株) (2025年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2025年8月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	39,718,200	39,718,200	東京証券取引所 プライム市場	単元株式数 100株
計	39,718,200	39,718,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2025年1月1日～ 2025年6月30日		39,718,200		3,920		2,250

(5) 【大株主の状況】

2025年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所 有株式数の割合 (%)
(株)鎌田企画	東京都渋谷区恵比寿南二丁目17番3号	19,888,400	50.07
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	東京都港区赤坂一丁目8番1号	2,466,300	6.20
(株)日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	1,780,900	4.48
S B Sホールディングス従業員持株会	東京都新宿区西新宿八丁目17番1号	1,241,900	3.12
和佐見 勝	埼玉県さいたま市浦和区	1,078,600	2.71
東武不動産(株)	東京都墨田区業平三丁目14番4号	1,001,000	2.52
CEPLUX-THE INDEPENDENT UCITS PLATFORM 2 (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店カストディ業務部)	31, Z. A. BOURMICH, L-8070, BERTRANGE, LUXEMBOURG (東京都新宿区新宿六丁目27番30号)	696,600	1.75
GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店カストディ業務部)	BANKPLASSEN 2, 0107 OSLO 1 OSLO 0107 NO (東京都新宿区新宿六丁目27番30号)	633,097	1.59
大内 純一	東京都世田谷区	601,400	1.51
(株)S B I証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	429,429	1.08
計	-	29,817,626	75.07

(注) 1 上記所有株式数のうち、信託業務にかかる株式数は次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) 2,466,300株

(株)日本カストディ銀行(信託口) 1,778,700株

2 発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合は、小数第3位を切り捨てて表示しております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2025年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 800		完全議決権株式であり、 権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 39,708,900	397,089	同上
単元未満株式	普通株式 8,500		
発行済株式総数	39,718,200		
総株主の議決権		397,089	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式 33株が含まれております。

【自己株式等】

2025年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数(株)	他人名義 所有株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
(自己保有株式) S B Sホールディング ス(株)	東京都新宿区西新宿八 丁目17番1号	800	-	800	0.00
計		800	-	800	0.00

(注) 当社は、単元未満自己株式 33株を保有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．中間連結財務諸表の作成方法について

当社の中間連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(1976年大蔵省令第28号。以下「連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

また、当社は、金融商品取引法第24条の5第1項の表の第1号の上欄に掲げる会社に該当し、連結財務諸表規則第1編及び第3編の規定により第1種中間連結財務諸表を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間(2025年1月1日から2025年6月30日まで)に係る中間連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による期中レビューを受けております。

1 【中間連結財務諸表】

(1) 【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,703	26,466
受取手形、売掛金及び契約資産	66,048	63,455
棚卸資産	¹ 41,803	¹ 43,141
その他	20,477	18,633
貸倒引当金	171	201
流動資産合計	157,861	151,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,978	76,506
減価償却累計額及び減損損失累計額	53,695	54,688
建物及び構築物（純額）	21,283	21,817
機械装置及び運搬具	40,211	42,780
減価償却累計額及び減損損失累計額	26,478	27,928
機械装置及び運搬具（純額）	13,732	14,851
土地	53,558	56,157
リース資産	10,937	16,416
減価償却累計額及び減損損失累計額	7,597	6,884
リース資産（純額）	3,339	9,531
建設仮勘定	2,047	1,473
その他	11,165	13,043
減価償却累計額及び減損損失累計額	7,931	8,785
その他（純額）	3,233	4,258
有形固定資産合計	97,195	108,090
無形固定資産		
のれん	7,287	12,901
顧客関連資産	20,327	19,916
その他	5,856	5,983
無形固定資産合計	33,472	38,801
投資その他の資産		
投資その他の資産	28,844	30,510
貸倒引当金	87	41
投資その他の資産合計	28,757	30,468
固定資産合計	159,425	177,360
資産合計	317,287	328,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,700	31,026
電子記録債務	4,732	4,542
短期借入金	21,100	30,617
1年内返済予定の長期借入金	24,066	27,567
未払法人税等	4,616	2,802
賞与引当金	2,714	3,013
その他	27,074	27,607
流動負債合計	116,005	127,177
固定負債		
長期借入金	55,374	49,872
退職給付に係る負債	9,452	9,157
資産除去債務	3,459	3,501
その他	20,046	25,656
固定負債合計	88,333	88,186
負債合計	204,338	215,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,920	3,920
資本剰余金	2,651	2,651
利益剰余金	77,458	77,447
自己株式	1	1
株主資本合計	84,029	84,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,448	1,529
為替換算調整勘定	1,857	1,811
退職給付に係る調整累計額	884	788
その他の包括利益累計額合計	4,190	4,128
非支配株主持分	24,728	25,343
純資産合計	112,948	113,491
負債純資産合計	317,287	328,855

(2) 【中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書】

【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1 月 1 日 至 2024年 6 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月30日)
売上高	221,739	228,539
売上原価	195,008	205,612
売上総利益	26,731	22,927
販売費及び一般管理費	15,772	16,537
営業利益	10,958	6,389
営業外収益		
受取利息	39	51
受取配当金	84	76
持分法による投資利益	478	769
その他	501	187
営業外収益合計	1,103	1,085
営業外費用		
支払利息	478	671
その他	198	438
営業外費用合計	676	1,110
経常利益	11,385	6,364
特別利益		
固定資産売却益	70	72
特別利益合計	70	72
特別損失		
固定資産除却損	62	65
減損損失	378	87
その他	82	3
特別損失合計	522	156
税金等調整前中間純利益	10,933	6,280
法人税等	4,059	2,664
中間純利益	6,873	3,616
非支配株主に帰属する中間純利益	416	856
親会社株主に帰属する中間純利益	6,456	2,760

【中間連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1 月 1 日 至 2024年 6 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月30日)
中間純利益	6,873	3,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202	3
為替換算調整勘定	1,081	325
退職給付に係る調整額	39	79
持分法適用会社に対する持分相当額	20	33
その他の包括利益合計	1,265	434
中間包括利益	8,138	3,182
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,338	2,699
非支配株主に係る中間包括利益	800	483

(3) 【中間連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1 月 1 日 至 2024年 6 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	10,933	6,280
減価償却費	5,555	5,806
減損損失	378	87
のれん償却額	316	275
貸倒引当金の増減額（ は減少 ）	4	17
賞与引当金の増減額（ は減少 ）	290	323
退職給付に係る負債の増減額（ は減少 ）	180	385
受取利息及び受取配当金	123	128
支払利息	478	671
持分法による投資損益（ は益 ）	478	769
有形及び無形固定資産売却損益（ は益 ）	55	69
有形及び無形固定資産除却損	62	65
売上債権の増減額（ は増加 ）	803	3,707
棚卸資産の増減額（ は増加 ）	5,527	1,859
仕入債務の増減額（ は減少 ）	1,775	1,442
その他	1,817	2,925
小計	12,490	15,472
利息及び配当金の受取額	178	283
利息の支払額	482	676
法人税等の支払額	2,991	4,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,194	10,598
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	6,855	6,536
有形及び無形固定資産の売却による収入	101	94
関係会社株式の取得による支出	434	591
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	7,907
その他	1,276	731
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,464	15,673
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（ は減少 ）	6,581	9,245
長期借入れによる収入	18,047	10,100
長期借入金の返済による支出	5,948	13,287
社債の償還による支出	5	5
配当金の支払額	2,581	2,780
非支配株主への配当金の支払額	392	319
その他	914	830
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,623	2,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,222	691
現金及び現金同等物の増減額（ は減少 ）	3,575	3,643
現金及び現金同等物の期首残高	29,660	28,436
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	6
現金及び現金同等物の中間期末残高	33,236	24,799

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当中間連結会計期間より、SBS Europe B.V.について重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、当中間連結会計期間より、新たに株式を取得したBlackbird Logistics B.V.及び同社の子会社5社を連結の範囲に含めております。

変更後の連結子会社数 48社

(2) 持分法適用範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20 - 3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65 - 2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(第一種中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(ブリヂストン物流㈱の株式取得について)

当社は、2025年6月30日開催の取締役会において、以下のとおり、㈱ブリヂストンから、同社の子会社であるブリヂストン物流㈱の普通株式の一部(発行済株式数の66.6%)を取得し、当社の連結子会社化することについて決議し、同日付で㈱ブリヂストンとの間で株式譲渡契約を締結しました。

(1) 株式の取得の理由

ブリヂストン物流は、ブリヂストングループ唯一の物流専門会社として、タイヤ物流を柱として培ってきた現場ノウハウや技術、またブリヂストングループとしてのブランド力、ネットワーク力を活かし、変化する物流環境に最適なソリューションを提供しています。

また、当社グループは総合物流事業者として、事業規模と事業領域の拡充、さらには優秀な人材等を確保する手段として、M & Aを重要な成長戦略の一つとして位置付けています。本株式取得により、ブリヂストン物流がブリヂストングループおよびその主要取引先との良好な関係を維持しつつ、当社グループが保有するインフラ・ノウハウの共有、物流事業における協業とシナジー追求によって、より付加価値の高い総合的な物流サービスを提供できる体制を整えてまいります。

(2) 株式取得の相手先の概要

名称	㈱ブリヂストン
所在地	東京都中央区京橋三丁目1番1号

(3) 異動する子会社の概要

名称	ブリヂストン物流㈱
所在地	東京都小平市小川東町 3 - 1 - 1 B-Trinityビル 6 階
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 三好 由浩
事業内容	貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫業、通関業など
資本金	400百万円

(4) 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式数の状況

異動前の所有株式数	0 株（議決権の数：0 個 議決権所有割合：0.0%）
取得株式数	5,328株（議決権の数：5,328個）
取得価額	8,000百万円（注）
異動後の所有株式数	5,328株（議決権の数：5,328個 議決権所有割合：66.6%）

（注）子会社取得の対価の額については、2024年12月末の対象会社の財務数値に基づいて算出したものになります。最終的な子会社取得の対価の額は譲受完了時点での財務数値に基づいて決定するため、事後的に調整される可能性があります。

(5) 日程

取締役会決議日	2025年 6 月30日
契約締結日	2025年 6 月30日
株式取得日	2025年10月 1 日（予定）

(中間連結貸借対照表関係)

1 棚卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 6 月30日)
仕掛販売用不動産	6,971百万円	8,968百万円
販売用不動産	34,111	33,183
商品及び製品	259	385
原材料及び貯蔵品	460	603
計	41,803	43,141

2 偶発債務

前連結会計年度（2024年12月31日）

2022年 6 月30日に発生しました当社連結子会社の物流施設における火災について、荷主の商品の焼失、毀損に対する補償等により追加の損失が生じる可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積もることは困難であるため、連結財務諸表には反映しておりません。

当中間連結会計期間（2025年 6 月30日）

2022年 6 月30日に発生しました当社連結子会社の物流施設における火災について、荷主の商品の焼失、毀損に対する補償等により追加の損失が生じる可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積もることは困難であるため、中間連結財務諸表には反映しておりません。

(中間連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)
給与手当	5,302百万円	5,407百万円
賞与引当金繰入額	782	848

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)
現金及び預金勘定	34,084百万円	26,466百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	847	1,395
短期借入金勘定に含まれる当座借越	-	271
現金及び現金同等物	33,236	24,799

(株主資本等関係)

前中間連結会計期間(自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年2月14日 取締役会	普通株式	2,581	65	2023年12月31日	2024年3月11日	利益剰余金

当中間連結会計期間(自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年2月14日 取締役会	普通株式	2,780	70	2024年12月31日	2025年3月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	202,206	-	4,628	206,835	-	206,835
その他の収益	2,690	12,213	-	14,904	-	14,904
外部顧客への売上高	204,897	12,213	4,628	221,739	-	221,739
セグメント間の 内部売上高又は振替高	368	715	579	1,663	1,663	-
計	205,266	12,929	5,208	223,403	1,663	221,739
セグメント利益	4,476	6,158	178	10,814	144	10,958

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益122百万円であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	218,153	1,425	5,006	224,584	-	224,584
その他の収益	2,989	965	-	3,954	-	3,954
外部顧客への売上高	221,142	2,390	5,006	228,539	-	228,539
セグメント間の 内部売上高又は振替高	381	1,018	602	2,001	2,001	-
計	221,524	3,408	5,608	230,541	2,001	228,539
セグメント利益	4,858	1,480	260	6,599	209	6,389

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去33百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益 243百万円であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

物流事業セグメントにおいて、当中間連結会計期間より、新たに株式を取得したBlackbird Logistics B.V.及び同社の子会社5社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、5,889百万円であります。

なお、のれんの金額は暫定的に算定された金額です。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Blackbird Logistics B.V.

事業の内容 ズワルウブランドを中心とした総合ロジスティック事業。パレット輸送事業、コンテナ輸送事業、危険物・食料等特定の認定が必要な輸送事業、倉庫保管事業（オースターブロッカー、マースフラクテ ロッテルダム、ヴィット ゼー、ズワルテ ゼーの4拠点）、貨物輸送事業（国際輸送、船便・航空便、国際複合一貫輸送）等

(2) 企業結合を行った主な理由

Blackbird Logistics B.V.は、中核会社であるDe Zwaluw Logistiek B.V.（以下「ズワルウ社」）、De Zwaluw Shipping B.V.、De Zwaluw Warehousing Echt B.V.、Maasvlakte Customs Services B.V.、Transmission Hoorn B.V.各社の全株式を保有する持株会社です。

中核会社のズワルウ社は、1948年にオランダのエンクハイゼンで設立され、輸入雑貨を中心にヨーロッパで急成長しているディスカウント小売事業者等の事業拡大をサポートしています。ズワルウ社は現在、欧州最大港であるロッテルダム港において、倉庫サービスを拡大し、ヨーロッパ全域をカバーする貨物利用運送サービス、オースターブロッカーの自社DCを中心にベネルクス3国での自社ネットワークによる運送サービスによって、小売事業者およびそのサプライヤーその他に3PLサービスを提供しています。

本件株式取得によって、ズワルウグループの物流運営事業を中心に、SBSグループの欧州地域における3PL事業を拡大し、中国・アジアの既存事業及び顧客ネットワークと融合させることで、グループ全体の海外事業を強化することを計画しています。

(3) 企業結合日

2025年6月30日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

Blackbird Logistics B.V.

(6) 取得した議決権比率

80.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価としてBlackbird Logistics B.V.の株式を取得したためであります。

2. 中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年6月30日をみなし取得日としているため、貸借対照表のみを連結しております。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	7,694百万円
取得原価		7,694百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 348百万円

5．発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- (1) 発生したのれん
5,889百万円
なお、上記の金額は暫定的に算定された金額です。
- (2) 発生原因
主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。
- (3) 償却方法及び償却期間
20年間にわたる均等償却

6．企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	1,629百万円
固定資産	12,529
資産合計	14,158
流動負債	2,441
固定負債	9,460
負債合計	11,901

7．のれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその種類別の内訳並びに償却期間
現時点では確定しておりません。

- (1株当たり情報)
- 1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり中間純利益金額	162円56銭	69円50銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する中間純利益(百万円)	6,456	2,760
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純利益(百万円)	6,456	2,760
普通株式の期中平均株式数(株)	39,717,411	39,717,367

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

- (重要な後発事象)
- 該当事項はありません。

2 【その他】

- (剰余金の配当)
- 2025年2月14日開催の取締役会において、2024年12月期の期末配当について次のとおり決議しました。
- 1 配当財産の種類

金銭
- 2 1株当たり配当金額及び配当金の総額

普通株式1株につき70円

配当総額 2,780百万円
- 3 効力発生日

2025年3月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の中間連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年8月8日

S B Sホールディングス株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

長崎 将彦

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

菅沼 淳

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているS B Sホールディングス株式会社の2025年1月1日から2025年12月31日までの連結会計年度の中間連結会計期間（2025年1月1日から2025年6月30日まで）に係る中間連結財務諸表、すなわち、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結包括利益計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の中間連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、S B Sホールディングス株式会社及び連結子会社の2025年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間連結会計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「中間連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

中間連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して中間連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から中間連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、中間連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において中間連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 中間連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、中間連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 XBRLデータは期中レビューの対象には含まれていません。